

NO. 1 令和7年7月中旬 新見市内発生事件

・事件概要

日本保険協会を名乗る男性から、情報提供者の保険証が3月に石川県の病院で使用されているが心当たりはあるかとの電話があった。情報提供者は石川県で病院にかかったことはなく、不審に思い知人の警察官に連絡を入れたところ、保険証の番号を変更するよう勧められ、新見市役所に連絡をした。

市からは、電話で薬の処方状況に関する調査や市外での受診の有無についてお尋ねすることや、日本保険協会などという組織に委託をすることもない旨を説明した。

また、詐欺の可能性が高いので今後も注意していただきたい。保険証等の記号・番号については、外部に漏洩することではなく、そのまま使用して差し支えないことを伝えた。

※レセプトを確認したが、3月に石川県での受診履歴なし。

※県および市内の消費生活担当課へも情報提供をした。

被害なし

NO. 2 令和7年9月初旬 岡山市内発生事件

・ 事件概要

●●役場のクロキを名乗る者（●●は聞き取りできず）から、あなたの健康保険証が大阪で使用されており、事故による受診で26万円使われているとの電話あり。情報提供者は不審に思い、「大阪には行っていません」と伝え切電したが、念のため広域連合に確認の連絡をした。

広域連合からは、最近、保険証が不正使用されていると告げて不安をあおる不審電話の事例が多く報告されており、この件も詐欺電話の可能性が高いので、今後同様の電話がかかってきても対応しないよう注意喚起した。

また、警察にも情報提供の依頼をした。

被害なし

NO. 3 令和7年9月中旬 岡山市内発生事件

・ 事件概要

「あなたの健康保険に関して手違いがあったので、名前と生年月日を教えてほしい」との電話があり。情報提供者は不審に思い、答えず切電した。相手方は名乗っていない。

役場や広域連合からそのような電話をすることはないことを伝え、最近、保険証に関して不安をあおる内容の不審電話について多くの事例が報告されており、この件も詐欺電話の可能性が高いので、今後同様の電話がかかっても対応しないよう注意喚起した。

被害なし

NO. 4 令和7年10月上旬 岡山市内発生事件

・事件概要

厚労省職員を名乗る男性から「保険証の不正利用がある。このままだと26万円の請求が来るから、被害届を出してほしい。」という電話があった。「大阪市内の病院名、入院が2025年7月28日から8月15日、病名など細かく説明され、その内容を警察に伝えてほしい。警察へはこちらから電話をつなげる」という内容であった。電話を受けた被保険者は、判断できないので配偶者が帰宅するまで待つてほしいと電話を切ろうとするがなかなか切らせてもらえなかったとのこと。相手が1時間後にかけて直すということで電話が終わり、広域連合へ確認のため電話をしたとのこと。

そういった案内は電話で行うことはない旨、厚労省がそういった電話をかけることがない旨を伝え、同様の電話が多く確認されているため、今回も特殊詐欺に係る電話である可能性が高いと伝えた。また、相手方がかけなおすとの話があったので、もしかかってきても対応しない旨を伝えた。

本当に不正利用はないかと心配されていたので、そういった
保険請求はないことを確認し、説明した。

被害なし

NO. 5 令和8年3月下旬 岡山市内事件発生

・ 事件概要

日本航空郵便配達部門のマツバラと名乗る男性から「あなた宛ての不審な荷物がある」と連絡があり、電話の途中で警視庁捜査2課の男性(氏名不明)に代われ、携帯電話番号、家族構成、職歴、帰宅時間等とともに被保険者番号を聞かれ、答えてしまった。

警察署には相談済で、被保険者番号を伝えてしまったので可能なら番号を変えて欲しいとのこと。

被保険者番号の変更はできない旨と、被保険者番号の漏洩のみでは、悪用の可能性は低いことを伝えた。

今後何かあった際は警察に相談するように伝え、切電。

被害なし